2025/8/27

閉経後乳がん患者さんの骨粗鬆症に関する臨床研究

ご協力をお願い

研究責任者 所属 乳腺外科 職名 部長 高島勉
担当者 所属 看護部 職名 看護主査 谷村敬子
連絡先 0745-32-0505

この度、閉経後乳がんにてホルモン治療を受けられる患者さんへのアンケート、診療情報を用いた、下記の研究を実施いたします。患者さんへのプライバシー保護について最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨 0745-32-0505 乳腺外来までご連絡をお願いいたします。

1. 対象となる方

当センター倫理委員会承認後から 2026 年 1 月 31 日の間に受診し、ホルモン治療を受けている閉経後乳がん患者さん、もしくは当センターで治療を開始したが、かかりつけ医で治療を継続されている患者さん

2. 研究テーマ

閉経後乳がん患者の FRAX による骨粗鬆症リスク評価

FRAX とは：世界保健機関(WHO)の国際共同研究グループが作成したプログラムで、40 歳以上を対象に、骨粗鬆症による骨折が向こう 10 年のうちに発生する確率を計算するものです。

3. 研究機関

奈良県西和医療センター乳腺外科外来

4. 本研究の意義・目的・方法

乳がん患者さんに対するホルモン療法により、治療成績の大幅な向上が得られている一方で、治療の影響で骨粗鬆症になりやすくなることが知られています。

骨粗鬆症というのは、骨量(骨密度)が減る、または骨の質が低下することで骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気を言います。

現在当センターにおいて多くの乳がん患者さんにホルモン療法が行われており、治療期間は約 5 年から 10 年に及びます。女性は男性よりも骨粗鬆症になりやすく、ホルモン療法によりさらに骨粗鬆症にリスクが高くなる可能性があります。ホルモン療法を受ける患者さんに骨粗鬆症のリスクがどのくらいあるのかを知ることは、骨粗鬆症予防の啓発につながると考え、アンケート調査させていただくこととしました。

5. 協力をお願いする内容

質問紙によるアンケート調査と、診療録、検査データの電子カルテからの閲覧です。

6. 本研究対象期間：倫理審査委員会承認後から 2026 年 12 月 31 日まで

登録期間：倫理審査委員会承認後から 2026 年 1 月 31 日まで

7. プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、匿名化データとして使用します。患者さんの個人情報と匿名データを結びつける情報は、本研究の研究担当者が研究終了までに厳重に管理し、研究実施に必要な場合に参照します。また研究終了時に完全に抹消します。